



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年8月7日

上場会社名 横浜魚類株式会社

上場取引所 東

コード番号 7443 URL <https://www.yokohamagyorui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 英俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 塚本 秋宏

TEL 045-459-3800

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,126	5.7	59	2.8	77	4.1	61	40.7
2026年3月期第1四半期	4,849	6.3	57	57.4	74	43.6	43	9.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	9.87	—
2026年3月期第1四半期	7.02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,673	2,696	47.5
2026年3月期	5,647	2,694	47.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 2,696百万円 2026年3月期 2,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	1.1	180	△14.9	200	△15.6	150	△19.2	23.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	6,290,000 株	2026年3月期	6,290,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	32,649 株	2026年3月期	32,649 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	6,257,351 株	2026年3月期1Q	6,257,351 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、個人所得の増加による個人消費の伸びなどにより景気は緩やかな拡大基調にあります。しかしながら物価高によるコスト増などが継続しているため景気の先行きは不透明であります。

水産物流通業界におきましては、魚価の高止まりに加え人件費、物流費の増加などがありコスト増が生じております。

この様な状況におきまして、当社は市場の特色を活かした高鮮度商品を中心に販売した結果、売上高は5,126百万円（前年同期比5.7%増）と増収になりました。

損益につきましては、売上高増加による売上総利益の増加並びに税負担の減少などにより、営業利益59百万円（前年同期比2.8%増）、経常利益77百万円（前年同期比4.1%増）、四半期純利益61百万円（前年同期比40.7%増）と増益になりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

（水産物卸売業）

市場の特色を活かした高鮮度商品を主体に販売した結果、売上高は5,083百万円（前年同期比5.8%増）と増収になりました。

営業損益は売上高増加による売上総利益の増加などにより、営業利益60百万円（前年同期比9.4%増）と増益になりました。

（不動産等賃貸業）

売上高は42百万円（前年同期比2.2%減）と減収になりました。営業損益は経費の増加などがあり、営業利益4百万円（前年同期比44.6%減）と減益になりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期会計期間末における総資産合計は、5,673百万円（前期末比26百万円増）となりました。これは受取手形及び売掛金が78百万円及び有価証券が100百万円減少しましたが、現金及び預金が46百万円、商品が154百万円増加及び貸倒引当金が18百万円減少したことなどにより流動資産が43百万円増加したこと、並びに投資有価証券が13百万円減少したことなどにより固定資産が16百万円減少したことによるものであります。

②負債

当第1四半期会計期間末における負債合計は、2,977百万円（前期末比24百万円増）となりました。これは買掛金が67百万円、未払法人税等43百万円及び長期借入金が39百万円減少しましたが、短期借入金が200百万円、その他流動負債が19百万円増加したことなどによるものであります。

③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、2,696百万円（前期末比1百万円増）となりました。これは利益剰余金が11百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が9百万円減少したことなどによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月11日の2026年3月期決算短信に開示しました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	462,978	509,904
受取手形及び売掛金	2,075,973	1,997,917
有価証券	100,000	—
商品	1,002,321	1,156,374
前払費用	7,107	11,136
その他	14,642	12,996
貸倒引当金	△263,342	△245,333
流動資産合計	3,399,680	3,442,996
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	943,227	937,458
その他（純額）	356,853	358,209
有形固定資産合計	1,300,080	1,295,667
無形固定資産	1,640	1,488
投資その他の資産		
投資有価証券	793,216	779,448
関係会社株式	35,645	35,645
破産更生債権等	119,746	118,614
繰延税金資産	52,662	53,878
その他	63,252	64,711
貸倒引当金	△118,835	△118,624
投資その他の資産合計	945,687	933,674
固定資産合計	2,247,408	2,230,830
資産合計	5,647,089	5,673,826

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	126,816	96,776
買掛金	1,551,394	1,483,908
短期借入金	100,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	159,600	159,600
未払法人税等	59,453	15,795
賞与引当金	21,989	2,560
その他	232,127	251,496
流動負債合計	2,251,381	2,310,137
固定負債		
長期借入金	81,800	41,900
退職給付引当金	348,857	355,157
役員退職慰労引当金	5,625	5,625
資産除去債務	103,255	105,510
長期預り保証金	161,427	158,927
その他	151	110
固定負債合計	701,115	667,230
負債合計	2,952,496	2,977,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,100	829,100
資本剰余金	648,925	648,925
利益剰余金	969,698	981,405
自己株式	△12,653	△12,653
株主資本合計	2,435,069	2,446,776
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	259,523	249,683
評価・換算差額等合計	259,523	249,683
純資産合計	2,694,592	2,696,459
負債純資産合計	5,647,089	5,673,826

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	4,849,897	5,126,560
売上原価	4,406,341	4,681,954
売上総利益	443,556	444,606
販売費及び一般管理費	386,086	385,513
営業利益	57,469	59,093
営業外収益		
受取利息	248	407
受取配当金	17,736	19,063
雑収入	84	74
営業外収益合計	18,068	19,544
営業外費用		
支払利息	707	743
雑損失	44	31
営業外費用合計	751	775
経常利益	74,787	77,862
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失	—	0
税引前四半期純利益	74,787	77,862
法人税、住民税及び事業税	17,314	13,300
法人税等調整額	13,563	2,796
法人税等合計	30,877	16,096
四半期純利益	43,909	61,766

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	35,891千円	36,397千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,806,139	43,758	4,849,897	—	4,849,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,806,139	43,758	4,849,897	—	4,849,897
セグメント利益	55,638	8,233	63,871	△6,402	57,469

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,402千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 卸売業	不動産等 賃貸業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,083,760	42,799	5,126,560	—	5,126,560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,083,760	42,799	5,126,560	—	5,126,560
セグメント利益	60,866	4,564	65,430	△6,337	59,093

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,337千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。